

3月の衛研検査情報

～トピックス～

食品中の動物用医薬品検査結果

当所では、食品中の動物用医薬品検査を行っています。今回は、平成28年9月から平成29年1月までに食品専門監視班が収去及び購入した食品の検査結果を報告します。

主な結果 9月にインターネットを通じて購入した、畜産食品10件（馬の筋肉、キジの筋肉、鹿の筋肉（各1件）、鶏の筋肉3件、羊の筋肉、ホロホロ鳥の筋肉（各2件））について検査を行いました。その結果、鶏の筋肉1件から合成抗菌剤ナイカルバジンが0.09ppm（基準値0.2ppm）検出されましたが、他の食品については全ての項目で不検出でした。

また、市内流通品について、11月に牛乳、鶏卵（各4件）、1月に鶏の筋肉10件の検査を行いました。その結果、全ての項目で不検出でした。

残留農薬検査（その4）

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。今回は、平成28年11月及び平成29年2月に、食品専門監視班及び各区福祉保健センターが搬入した農産物の検査結果を報告します。

主な結果 11月に搬入されたキャベツ（4検体）、かぶの根、さといも、だいこんの根、ブロッコリー（各2検体）、つるむらさき、にんじん、ほうれんそう（各1検体）、2月に搬入された京いも、こまつな、さといも、だいこんの根、にんじん、はくさい、ブロッコリー（各1検体）の計22検体について検査を行いました。

その結果、ブロッコリーからペルメトリンが0.03ppm（基準値2ppm）、だいこんの根からホスチアゼートが0.01ppm（基準値0.2ppm）検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成29年2月は、インフルエンザ流行情報、大麻（マリファナ）、クロストリジウム・ディフィシル感染症、ノロウイルスによる感染性胃腸炎に関するページのアクセスが多く見られました。総件数は120,245件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。